



# 第三小学校の 新型コロナウイルス感染症対策

## 1 感染症予防対策(密閉・密集・密接の回避)

本校では、市教育委員会の方針を踏まえ、児童及び保護者・地域の方の安心・安全のため、新型コロナウイルス感染症対策に、チーム三小を結成し全力で取り組んでいます。その内容を「校内環境編」「児童への指導編」「給食指導編」にまとめ御紹介します。また、よくある質問をQ&Aにまとめましたので、あわせて御紹介します。



### 校内環境編



換気、座席、マスク

教室内のこまめな換気を心掛けるとともに、座席間を離して着席させています。飛沫防止のため、教員もマスクを着用して指導しています。



机・椅子



手洗い場



トイレ



冷水機

職員用昇降口及び各教室にアルコール消毒液、手洗い場に液体石鹸を置くなどして手指の衛生を保てる環境を整備しています。



アルコール消毒液



手洗い用液体石鹸

1日1回以上、校舎内の人々が接触する箇所を、教職員が分担して消毒しています。冷水機は使用不可としています。

### 児童への指導編

「自分と大切な人の命を守る」ために、生活指導部を中心とした学校組織で児童への指導を徹底しています。特に大切にしていることは、以下の3点です。

#### 1 手洗いの徹底

登校時や給食前、休み時間後、トイレ使用後など、流しにある石鹸を利用し、20~30秒かけて手洗いをし、自分のハンカチで手を拭くよう指導しています。密集を作らないよう、班・列ごとに手洗いに行かせるなどの工夫をしています。

#### 2 健康観察の徹底

「毎日の健康記録」を児童に配付し、毎朝、体温を測り提出させています。発熱等の症状がみられる場合は、無理をせず自宅で休養するよう指導しています。健康状態を確認できなかった児童には、教室で個別に検温をさせています。

また、37℃以上の熱又は体調不良の児童は、速やかに保護者に連絡をするなどの対応をとっています。

#### 3 咳エチケットの慣行とマスクの着用

咳などをする場合、ハンカチや袖で口・鼻を覆い、周囲の人に配慮するよう指導しています。また、校内では原則マスクを着用させています。

(忘れた児童には、学校のものを配付しています。)



手洗い、ハンカチ

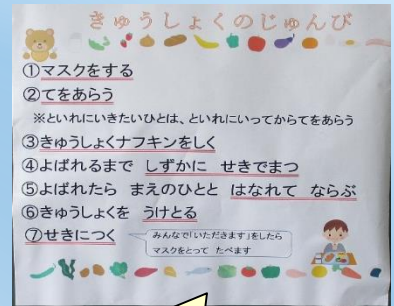


掲示物(咳エチケットなど)

令和2年6月  
武蔵村山市立第三小学校



座席は対面にせず、食事  
の会話も必要最低限のもの  
だけとしています。落ち着いた  
音楽を流しながら、給食を食  
べているクラスもあります。



配膳の際は、児童ができるだけ  
間隔を空けて並ぶよう指導してい  
ます。下膳の際は、食べ終わった  
児童から先に片付けるなど、密集  
にならないよう工夫しています。



学校全体で共通の約束  
をつくり、給食指導を  
行っています。第三小の  
児童は、みんな理解して  
給食の時間を過ごしてい  
ます。

## 2 学校生活Q&A(よくある質問をまとめてみました。)

### (1) 子供が感染してしまった場合は、どうすればよいですか。

#### <子供が感染してしまった場合>

速やかに学校に連絡をしてください。当該児童に出席停止の措置を行います。また、学校保健安全法第20条に基づき、原則として14日間を目安に学校が臨時休業となります。ただし、当該児童の症状の有無、感染経路の明否等、これらの点を総合的に考慮し、臨時休業の実施の有無及び期間について別途判断する場合があります。当該児童の名前の公表等については配慮しますので安心してください。

#### <同居家族が感染した場合(濃厚接触者となった場合)>

速やかに学校に連絡をしてください。市教育委員会及び保健所に濃厚接触者に対する今後の対応を確認した上で、感染の有無などの状況が明らかになるまでの間、当該児童に対して出席停止の措置を行います。また、必要に応じて、保健所の指示のもと臨時休業を実施する場合があります。

※武蔵村山市立小・中学校版感染症予防ガイドライン第3版より

### (2) 感染症防止に取り組んでいる学校の様子を知るには、どうすればよいですか。

学校では、児童及び保護者・地域の方の安心・安全のため、情報を効果的に発信することに努めています。具体的には、学校・学年便りを定期的に配布するとともに、学校ホームページの更新及びSNSの活用など、新型コロナウイルス感染症防止に取り組んでいる様子を伝えています。

※学校ホームページ  
※学校公式ツイッター

[www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced3s/](http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced3s/)  
[https://twitter.com/m\\_murayama\\_03s/status/](https://twitter.com/m_murayama_03s/status/)



### (3) 長い休校期間で、学習面や心の面が心配です。学校の対応を教えてください。

学習面については必要な授業時数を生み出すため、長期休業日の短縮や月1回以上の土曜授業の実施(2学期以降)、学校行事の精選など、令和2年度の教育活動の見直しを行いました。また、各教科等の年間指導計画を見直し、当該学年内において必要な学びが確保できるよう工夫しました。

心の面については、生活指導部でアンケートを実施するなど、全教職員で児童についての共通理解を図り、心のケアを組織的に行っています。

学校の対応や子供のことで不安なことなどありましたら、遠慮なく学校(担任等)に相談してください。また、スクールカウンセラーへの相談も随時受け付けています。